

県議会議員と各委員会



5月15日に臨時会が開催され、正副議長が選任されるとともに、議会の内部機関である議会運営委員会、6つの常任委員会(左欄)と5つの特別委員会の構成のほか、監査委員が決まりました。

議員定数	55人 (欠員2人)
議会運営委員会	●議会の運営に関する事項 ●議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 ●議長との諮問に関する事項
決議特別委員会	久徳大輔(委員長)・加藤浩久(副委員長)・千田博通・天野学・小田春人・岡嶋豊・渡辺英気・小田圭一・住吉良久・高原俊彦・高橋英士
総合計画・行財政改革特別委員会	●新請れの国のおかやま生き生きプランに関する調査 ●おかやま創生総合戦略に関する調査 ●行財政改革・地方分権推進・広域行政に関する調査
地域経済活性化対策特別委員会	●地域経済活性化に関する調査 ●(1)企業誘致・金融・雇用対策に関する調査 ●(2)攻めの農林水産業に関する調査 ●(3)観光振興・情報発信に関する調査 ●(4)観光振興 ●(5)首都圏における魅力発信の推進 ●(6)空路の拡充、利用促進 ●(7)スポーツ・武道の振興(おかやまマラソン含む)
地域振興・防災・環境対策特別委員会	●中山間地域の振興に関する調査 ●広域交通網の整備に関する調査 ●防災計画等に関する調査 ●環境対策に関する調査 ●(1)地球温暖化対策・新エネルギーの普及 ●(2)循環型社会形成推進対策 ●(3)県民生活の環境保全対策
教育再生・子ども応援特別委員会	●学力向上・グローバル人材育成に関する調査 ●青少年の健全育成に関する調査 ●子育て支援・家庭環境対策に関する調査
監査委員	太田正孝・江本公一

土木委員会

委員長 小林 義明 (自民 新見市)
副委員長 福島 恭子 (自民 岡山市東区)

委員 高橋 戒隆 (5期) 渡辺 英気 (6期) 天野 学 (8期) 福島 恭子 (1期) 小林 義明 (2期)
小田 春人 (3期) 山田 総一郎 (4期) 中川 雅子 (5期) 河野 慶治 (6期) 池本 敬朗 (7期)

取り扱う事項 ●土木部の所管に属する事項
●収用委員会の所管に属する事項

産業労働警察委員会

委員長 池本 敬朗 (自民 備前市・和気郡)
副委員長 河野 慶治 (1期) 千田 博通 (2期) 小野 泰弘 (3期) 遠藤 康洋 (4期)

委員 山田 総一郎 (5期) 中川 雅子 (6期) 高原 俊彦 (7期) 小倉 弘行 (8期)

取り扱う事項 ●産業労働部の所管に属する事項
●公安委員会の所管に属する事項
●労働委員会の所管に属する事項

総務委員会

委員長 渡辺 吉幸 (3期) 柳田 哲 (2期) 河本 勉 (1期) 蓮岡 靖之 (5期) 波多 洋治 (4期)

委員 太田 正孝 (3期) 大塚 愛 (1期) 増川 英一 (4期) 森脇 久紀 (4期)

取り扱う事項 ●総合政策局の所管に属する事項
●総務部の所管に属する事項
●県民生活部の所管に属する事項
●出納局の所管に属する事項
●企業局の所管に属する事項
●選挙管理委員会の所管に属する事項
●人事委員会の所管に属する事項
●監査委員の所管に属する事項
●他の常任委員会の所管に属さない事項

文教委員会

委員長 小林 孝一郎 (2期) 荒島 俊造 (1期) 小田 春人 (2期) 内山 登 (6期) 久徳 大輔 (5期)

委員 加藤 浩久 (4期) 花房 尚 (1期) 須増 伸子 (1期) 木口 京子 (2期)

取り扱う事項 ●教育委員会の所管に属する事項

農林水産委員会

委員長 市村 仁 (2期) 渡辺 知典 (1期) 岡崎 豊 (6期) 伊藤 文夫 (5期)

委員 井元 一郎 (5期) 西岡 聖貴 (4期) 青野 高陽 (3期) 三宅 和広 (2期)

取り扱う事項 ●農林水産部の所管に属する事項
●海区漁業調整委員会の所管に属する事項
●内水面漁場管理委員会の所管に属する事項

環境文化保健福祉委員会

委員長 上田 勝義 (2期) 山本 雅彦 (1期) 小田 圭一 (6期) 江本 公一 (3期) 中塚 周一 (3期)

委員 高橋 徹 (1期) 高橋 英士 (7期) 氏平 三穂子 (2期) 佐古 信五 (9期)

取り扱う事項 ●環境文化部の所管に属する事項
●保健福祉部の所管に属する事項

代表質問から

学校警察連絡室について

増川 英一 議員 (公明党)

学校警察連絡室は、活動重点対象校を中心に活動が推進されてきたが、体制強化や活動対象の拡大など、さらなる充実が取り組まれている。学校では、これまで以上に活動重点対象校以外の学校の状況が年度途中に悪化した場合、

駅での勧誘行為について

中川 雅子 議員 (民主・市民クラブ)

岡山駅や倉敷駅で勧誘行為が引き続き増加しているが、危険を伴うものがある。警察に通報していただくが、現状では、このように自己防衛や警察連絡室などの対応を要する必要があると思われる。現在、23都府県が性風俗などへの勧誘行為の防止対策を強化しているが、本県は、

全国植樹祭の開催について

江本 公一 議員 (自由民主党)

本県の面積の割合にあたる森林は、木材の生産・水産物の養殖・国土の保全・地球温暖化防止・生物多様性の保全など、様々な生活環境に欠くことのできない役割を担っている。共通の財産である森林・緑地に対する理解を一層深めるための次世代に引き継いでいく必要がある。全国植樹祭は、本県では、昭和42年に開催されたが、巡回による開催を検討している。

県立高校の教育体制整備について

小田 春人 議員 (自由民主党)

県立高校の教育体制整備は、平成30年度中に県立高校の教育体制整備について実施計画を策定する予定だ。この機会に知事から提出された議案は、予算案34件、事件案件9件、条例案46件、人事案件2件の計91件だ。また、議案提出の発議案は、3イ・D・シの導入に反対し、タフシューの導入を求める意見書が5件可決された。2月27日には代表質問が行われ、小田議員(自由民主党)、高橋俊彦議員(民主・市民クラブ)、山田総一郎議員(公明党)の3名の議員が、県政の諸課題について会派を代表して質問を行った。3月2日、6日から9日の計5日間にわたり22名の議員が一般質問を行いました。

労働環境の改善について

高原 俊彦 議員 (民主・市民クラブ)

中小企業の成長には、人材の確保、育成が重要であり、そのためには、すべての企業が労働環境の改善に取り組むことが求められる。政府は、前倒し勤務外労働の上限規制の導入を決定したが、前倒し勤務業務、建設業、医師の適用が5年間猶予された。長時間労働が常態化しているこれらの業種については、労働環境改善に向けて労働局と一体となった特段の取り組みが必要だが、所見を伺いたい。

水銀廃棄物の適正処理について

山田 総一郎 議員 (公明党)

水銀を使用した製品等が廃棄物となり、たばこ灰や調理施設への運搬が適正に行われていない。大規模な汚染が懸念されている。廃棄物の適正処理のため、廃棄物処理法は、廃棄物の適正処理に係る事業者への指導や、一般廃棄物に係る市町村の技術的援助を定める必要がある。所見を伺いたい。

6月定例会

6月定例会は、6月7日から会期23日間で開かれ、諸議案の審議を終えて6月29日に閉会しました。この機会に知事から提出された議案は、予算案1件、事件案件2件、条例案6件、人事案件4件の計13件でした。6月12日には代表質問が行われ、江本公一議員(自由民主党)、中川雅子議員(民主・市民クラブ)、増川英一議員(公明党)の3名の議員が県政の諸課題について会派を代表して質問を行った。6月15日、19日、21日の計4日間にわたり16名の議員が一般質問を行いました。

用語解説

前倒し勤務外労働の規制 現在の労働法の規制を告示から法律に移すことにより、より強力な規制となる。従来、上限無き長時間労働が可能であった。この規制により、労働者の健康被害を防止し、労働者の権利を保護する。

一般廃棄物 産業廃棄物以外のごみ(家庭のごみ)を指す。

6月定例会 議決結果

予算案	1件可決 (1件中)
事件案件	2件可決 (2件中)
条例案	6件可決 (6件中)
人事案件	4件同意 (4件中)

6月21日 山本雅彦、青野高陽、高橋英士、岡崎豊

6月20日 福島恭子、河野慶治、池本敬朗

6月19日 上田勝義、小田春人、渡辺知典、太田正孝

6月15日 小林孝一郎、氏平三穂子、荒島俊造、鳥井良輔

代表質問から

県立高校の教育体制整備について

小田 春人 議員 (自由民主党)

県立高校の教育体制整備は、平成30年度中に県立高校の教育体制整備について実施計画を策定する予定だ。この機会に知事から提出された議案は、予算案34件、事件案件9件、条例案46件、人事案件2件の計91件だ。また、議案提出の発議案は、3イ・D・シの導入に反対し、タフシューの導入を求める意見書が5件可決された。2月27日には代表質問が行われ、小田議員(自由民主党)、高橋俊彦議員(民主・市民クラブ)、山田総一郎議員(公明党)の3名の議員が、県政の諸課題について会派を代表して質問を行った。3月2日、6日から9日の計5日間にわたり22名の議員が一般質問を行いました。

労働環境の改善について

高原 俊彦 議員 (民主・市民クラブ)

中小企業の成長には、人材の確保、育成が重要であり、そのためには、すべての企業が労働環境の改善に取り組むことが求められる。政府は、前倒し勤務外労働の上限規制の導入を決定したが、前倒し勤務業務、建設業、医師の適用が5年間猶予された。長時間労働が常態化しているこれらの業種については、労働環境改善に向けて労働局と一体となった特段の取り組みが必要だが、所見を伺いたい。

水銀廃棄物の適正処理について

山田 総一郎 議員 (公明党)

水銀を使用した製品等が廃棄物となり、たばこ灰や調理施設への運搬が適正に行われていない。大規模な汚染が懸念されている。廃棄物の適正処理のため、廃棄物処理法は、廃棄物の適正処理に係る事業者への指導や、一般廃棄物に係る市町村の技術的援助を定める必要がある。所見を伺いたい。

6月定例会

6月定例会は、6月7日から会期23日間で開かれ、諸議案の審議を終えて6月29日に閉会しました。この機会に知事から提出された議案は、予算案1件、事件案件2件、条例案6件、人事案件4件の計13件でした。6月12日には代表質問が行われ、江本公一議員(自由民主党)、中川雅子議員(民主・市民クラブ)、増川英一議員(公明党)の3名の議員が県政の諸課題について会派を代表して質問を行った。6月15日、19日、21日の計4日間にわたり16名の議員が一般質問を行いました。

用語解説

前倒し勤務外労働の規制 現在の労働法の規制を告示から法律に移すことにより、より強力な規制となる。従来、上限無き長時間労働が可能であった。この規制により、労働者の健康被害を防止し、労働者の権利を保護する。

一般廃棄物 産業廃棄物以外のごみ(家庭のごみ)を指す。

2月定例会 議決結果

予算案	34件可決 (34件中)
事件案件	9件可決 (9件中)
条例案	46件可決 (46件中)
人事案件	2件同意 (2件中)
発議案	5件可決2件否決 (7件中)

3月9日 波辺吉幸、渡辺英気、小田圭一、高橋徹

3月8日 山本雅彦、小田春人、福島恭子、中川雅子

3月7日 河野慶治、太田正孝、江本公一

3月6日 上田勝義、柳田哲、渡辺知典、須増伸子

3月2日 須増伸子、渡辺英気、加藤浩久、小田春人、荒島俊造、小林孝一郎

代表質問から

県立高校の教育体制整備について

小田 春人 議員 (自由民主党)

県立高校の教育体制整備は、平成30年度中に県立高校の教育体制整備について実施計画を策定する予定だ。この機会に知事から提出された議案は、予算案34件、事件案件9件、条例案46件、人事案件2件の計91件だ。また、議案提出の発議案は、3イ・D・シの導入に反対し、タフシューの導入を求める意見書が5件可決された。2月27日には代表質問が行われ、小田議員(自由民主党)、高橋俊彦議員(民主・市民クラブ)、山田総一郎議員(公明党)の3名の議員が、県政の諸課題について会派を代表して質問を行った。3月2日、6日から9日の計5日間にわたり22名の議員が一般質問を行いました。

労働環境の改善について

高原 俊彦 議員 (民主・市民クラブ)

中小企業の成長には、人材の確保、育成が重要であり、そのためには、すべての企業が労働環境の改善に取り組むことが求められる。政府は、前倒し勤務外労働の上限規制の導入を決定したが、前倒し勤務業務、建設業、医師の適用が5年間猶予された。長時間労働が常態化しているこれらの業種については、労働環境改善に向けて労働局と一体となった特段の取り組みが必要だが、所見を伺いたい。

水銀廃棄物の適正処理について

山田 総一郎 議員 (公明党)

水銀を使用した製品等が廃棄物となり、たばこ灰や調理施設への運搬が適正に行われていない。大規模な汚染が懸念されている。廃棄物の適正処理のため、廃棄物処理法は、廃棄物の適正処理に係る事業者への指導や、一般廃棄物に係る市町村の技術的援助を定める必要がある。所見を伺いたい。

6月定例会

6月定例会は、6月7日から会期23日間で開かれ、諸議案の審議を終えて6月29日に閉会しました。この機会に知事から提出された議案は、予算案1件、事件案件2件、条例案6件、人事案件4件の計13件でした。6月12日には代表質問が行われ、江本公一議員(自由民主党)、中川雅子議員(民主・市民クラブ)、増川英一議員(公明党)の3名の議員が県政の諸課題について会派を代表して質問を行った。6月15日、19日、21日の計4日間にわたり16名の議員が一般質問を行いました。

用語解説

前倒し勤務外労働の規制 現在の労働法の規制を告示から法律に移すことにより、より強力な規制となる。従来、上限無き長時間労働が可能であった。この規制により、労働者の健康被害を防止し、労働者の権利を保護する。

一般廃棄物 産業廃棄物以外のごみ(家庭のごみ)を指す。

2月定例会 議決結果

予算案	34件可決 (34件中)
事件案件	9件可決 (9件中)
条例案	46件可決 (46件中)
人事案件	2件同意 (2件中)
発議案	5件可決2件否決 (7件中)

3月9日 波辺吉幸、渡辺英気、小田圭一、高橋徹

3月8日 山本雅彦、小田春人、福島恭子、中川雅子

3月7日 河野慶治、太田正孝、江本公一

3月6日 上田勝義、柳田哲、渡辺知典、須増伸子

3月2日 須増伸子、渡辺英気、加藤浩久、小田春人、荒島俊造、小林孝一郎

代表質問から

県立高校の教育体制整備について

小田 春人 議員 (自由民主党)

県立高校の教育体制整備は、平成30年度中に県立高校の教育体制整備について実施計画を策定する予定だ。この機会に知事から提出された議案は、予算案34件、事件案件9件、条例案46件、人事案件2件の計91件だ。また、議案提出の発議案は、3イ・D・シの導入に反対し、タフシューの導入を求める意見書が5件可決された。2月27日には代表質問が行われ、小田議員(自由民主党)、高橋俊彦議員(民主・市民クラブ)、山田総一郎議員(公明党)の3名の議員が、県政の諸課題について会派を代表して質問を行った。3月2日、6日から9日の計5日間にわたり22名の議員が一般質問を行いました。

労働環境の改善について

高原 俊彦 議員 (民主・市民クラブ)

中小企業の成長には、人材の確保、育成が重要であり、そのためには、すべての企業が労働環境の改善に取り組むことが求められる。政府は、前倒し勤務外労働の上限規制の導入を決定したが、前倒し勤務業務、建設業、医師の適用が5年間猶予された。長時間労働が常態化しているこれらの業種については、労働環境改善に向けて労働局と一体となった特段の取り組みが必要だが、所見を伺いたい。

水銀廃棄物の適正処理について

山田 総一郎 議員 (公明党)

水銀を使用した製品等が廃棄物となり、たばこ灰や調理施設への運搬が適正に行われていない。大規模な汚染が懸念されている。廃棄物の適正処理のため、廃棄物処理法は、廃棄物の適正処理に係る事業者への指導や、一般廃棄物に係る市町村の技術的援助を定める必要がある。所見を伺いたい。

6月定例会

6月定例会は、6月7日から会期23日間で開かれ、諸議案の審議を終えて6月29日に閉会しました。この機会に知事から提出された議案は、予算案1件、事件案件2件、条例案6件、人事案件4件の計13件でした。6月12日には代表質問が行われ、江本公一議員(自由民主党)、中川雅子議員(民主・市民クラブ)、増川英一議員(公明党)の3名の議員が県政の諸課題について会派を代表して質問を行った。6月15日、19日、21日の計4日間にわたり16名の議員が一般質問を行いました。

用語解説

前倒し勤務外労働の規制 現在の労働法の規制を告示から法律に移すことにより、より強力な規制となる。従来、上限無き長時間労働が可能であった。この規制により、労働者の健康被害を防止し、労働者の権利を保護する。

一般廃棄物 産業廃棄物以外のごみ(家庭のごみ)を指す。

2月定例会 議決結果

予算案	34件可決 (34件中)
事件案件	9件可決 (9件中)
条例案	46件可決 (46件中)
人事案件	2件同意 (2件中)
発議案	5件可決2件否決 (7件中)

3月9日 波辺吉幸、渡辺英気、小田圭一、高橋徹

3月8日 山本雅彦、小田春人、福島恭子、中川雅子

3月7日 河野慶治、太田正孝、江本公一

3月6日 上田勝義、柳田哲、渡辺知典、須増伸子

3月2日 須増伸子、渡辺英気、加藤浩久、小田春人、荒島俊造、小林孝一郎